

#### (4) ①様式第4号-2(報告書)

※文字の大きさはMeiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ずA3片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

NITS カフェ報告書	実施機関名・連携機関名 国立大学法人兵庫教育大学、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、山口県教育委員会、下関市教育委員会、境港市教育委員会、鳥取県教育委員会
※ 機構記入欄 No. ： -	セミナー名：【NITS カフェ in 神戸】 学校・教育行政改善プラン -改善プランに基づく組織づくり-

#### テーマ：

学校教育に対する期待は大きくなってきており、学校が自らの判断で保護者や地域社会の期待、要求に応えながら、自律的に学校づくりに取り組むことが求められている。これからの学校づくりには、校長や副校長、教頭に深い教育的見識とともに、組織を動かす経営力が必要であり、教育委員会の指導主事や管理主事などの職員にも学校づくりを支援する高度な役割、力量が必要とされる。

本セミナープログラムにおいては、本学教職大学院の学校経営コースに所属する大学院生（現職教員）が行う「学校改善プラン・教育行政改善プラン」の発表に基づき、教育委員会等から招へいしたコメントーターやその他の学校関係者を交えてディスカッションを行い、高度な実践力・課題解決力や組織経営力の向上の機会とする。

#### 内容：

兵庫教育大学大学院学校経営コースの2回生11人が、2日間にわたり、現任校や教育委員会などで実施したインターンシップの経験や先進校視察などを取り入れた改善プランを作成し、教育委員会の幹部や学校現場の校長等のコメントーター16人を招いて、本学学長及び大学教員、教育委員会・学校関係者、本学修了生等の延べ130人の参加を得て、発表を行った。発表における評価の観点として、①課題設定、②論理性、③関連情報の検索、④インターンシップとの関連、⑤オリジナリティの5つを設定し、1人当たり発表時間25分、質疑応答10分、指導助言10分、合計45分で実施した。

発表内容は、国や県市の概要、現任校や教育委員会の現状と課題、先進事例等からの学び、改善プランの方向性、改善プランの具体的方策などについて、インターンシップ中の取組等を含めて、プレゼンテーションで実施した。学校改善プランの具体例として、小学校では「小中合同の学校運営協議会で創る境港版『奇跡の学校』」、中学校では「プロセスマネジメントをベースとした開発的改善」、高等学校では「地域創生と学校の活性化を一体的に進める地域探究型コミュニティ・スクールの推進」や「共生社会の担い手となる人材を育むカリキュラムの開発と運営システムの改善」、特別支援学校では「児童生徒が卒業後地域で自分らしく生きるために」等であった。また、教育行政改善プランでは、「学校現場の諸問題に寄り添う県・市町教育委員会の連携の在り方」や「小中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会の支援策」等であった。各発表の後、参加者による活発な質疑応答が行われ、コーディネーターによる改善プランの実効性や検討課題、評価される点などを踏まえた指導助言、教育委員会幹部による総括助言が行われた。

#### 成果：

- ・本学大学院学校経営コースの修了生にも案内を行い、2日間で55人の参加を得た。
- ・各発表者の提案に対して、コメントーターからだけでなく教育委員会・学校関係者や修了生等の参加者を交えた活発な質疑応答が行われ、延べ130人の意見交換の機会となった。
- ・事業後の感想や意見では「とてもよかった」が多く、次年度もこの事業での実施に対する要望が強い。

#### アイディアや工夫したこと：

- ※3~5つ程度の箇条書きしてください。
- ・活発な意見交換の場にする為、教育委員会・学校関係者や本学大学院修了生に会の案内をした。
- ・本学大学院生が2日間に発表する改善プランの概要をまとめた冊子を、参加者に配布した。
- ・発表に関する理解の促進を図るため、発表会に先立ち本学教員の特別講義を実施した。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。



當山清実 学校経営コース長による開会挨拶



学校経営コース大学院生による改善プラン発表



発表の様子を聞いている参加者様子



発表後の参加者による質疑応答



コメンテーターからの指導助言



兵庫県教育委員会 赤坂博和主幹による総括助言